

総会記念シンポジウム開催

静岡県中部未来懇話会

一般社団法人静岡県中部未来懇話会の2021年度定時社員総会記念シンポジウム（静岡新聞社・静岡放送共催）が6月29日、静岡市葵区のホテルで開かれた。みずほリサーチ&テクノロジーズ調査本部チーフエコノミスト・太田智之氏の基調講演に続き、「サプライチェーンの再構築に向けて」をテーマにしたパネル討論では3人のパネリストが、新型コロナウイルスのパンデミックによる国際情勢の変化を踏まえた柔軟な供給網の確立について意見を交わした。（パネル討論詳報は7～9ページ）



今日のサプライチェーンの混乱の背景には新型コロナウイルスによる消費者、企業の行動変容がある。コロナ禍の中、経済的影響が富める国と貧しい国で異なるし、同じ国でも業種、職種で影響が違い、格差の拡大、固定化などの問題を引き起こしている。その結果、国民の不満、不安に対処するために各国では自国主義、権威主義を後押しし、米中をはじめとした国家間の対立を深めた。コロナ禍でサブ

基調講演

「国際情勢の変化と

グローバルサプライチェーン」

みずほリサーチ&テクノロジーズ調査本部

チーフエコノミスト

太田 智之氏

コロナ禍で脆弱性を露呈

サプライチェーンの弱さが露呈した事象が生じている。国際情勢の変化を踏まえた上で、ショックに対して柔軟かつ持続的なサプライチェーンを築くために何を意識し、どう行動すべきかを考える糸口を提示できればと思う。

▽ワクチン接種普及がカギ

経済が成長するかどうかはワクチン接種の普及にかかっている。ワクチンの接種こそが最大の経済対策だと言われるゆえんだ。経済で前向きな動きが出ているが、あまり良すぎても物流に負荷をかけ、目詰まりが起きてしまう。

世界の生産指数はコロナの感染拡大に伴う行動制限を受けて2020年4月に過去最大の落ち込みを記録した。しかし6月からは金融支援も

おおた・ともゆき氏略歴 1995年京都大学大学院農学研究科農林経済学修了、同年4月富士総合研究所入社・研究開発部配属、2003年財務省財務総合政策研究所出向、05年みずほ総合研究所 経済調査部シニアエコノミスト、12年ニューヨーク事務所長、15年経済調査部長、20年首席エコノミスト・本部長代理、21年4月より現職

あつて急激なV字回復となった。ただ企業の生産拡大には時間がかかるため、その影響がサプライチェーンに出た。

アメリカの小売販売額はコロナ禍前を100とした時、86まで一気に落ちたが、今は118。つまり、コロナ前より約2割も多い。世界でいち早くワクチン接種が進んだことから絶好調となった。物は足りないし、遅延は生じるし、配送にも遅れが生じた。それがサプライチェーンを揺るがしている。

そもそもサプライチェーンに対する不安定化要素は山ほどある。アメリカで起きた2

月の寒波などの天候要因、パ
ンデミック、経済対立なども
リスク要因。強靱で柔軟、持
続的なサプライチェーンを構
築するため様々なリスクを認
識しておくなくてはならない。

アメリカ経済は急回復し、
供給が追い付かない。需要が
増える一方で供給制約が続き
そうということで、物価上昇
を警戒している。しかし、上
昇は一時的だとみている。な
ぜかと言えば、旅行・外出需
要が物価を押し上げているか
らだ。もし来年も同じ価格が
続くとしたら、あきらめる人
が出てくるだろう。さらに企
業は供給量を増やしてくるし、
時間がたてば供給制約がなく
なる。今年は価格が上がって
も、来年は下がるのではない
か。むしろその反動が心配だ。

▽企業に3つの選択肢

供給制約によって原材料価
格、賃金が上昇した場合、企
業の選択肢は3つある。1つ
は、そのまま価格に転嫁する。
よくあるパターンはコストを
吸収する方法。日本はコスト
で吸収する企業が多いが、ア

メリカはほとんど価格転嫁し
ている。確かに賃金は上がっ
ているが、まだ雇用者数が戻っ
てきていないため、購買力は
それほど上がっていない。だ
からそんなに物価が上がり続
けることはないだろう。

みなさんが心配している問
題として、国家間の対立によ
るサプライチェーンへの悪影
響がある。米中関係が戦後最
悪といわれるほど冷え込んで
いるのは間違いない。そもそ
も中国の台頭に対してアメリ
カは危機感を持っていた。そ
れに加えてコロナに関する情
報提供の遅延、起源説も掘り
返されるなど不信感があるの
は確かだが、本当に戦う意思
があるだろうか。

バイデン政権はトランプ政
権より戦略的で、かつ手順を
踏まえたやり方をしている。
一言で言うところ「競争の共存」だ。
それは「対立」「競争」「協調」
の3つの軸からなっている。
まず、競争を中心としつつ協
調できる部分は柔軟に協調す
る。第2は「対立はするが対
決はしない」。強い姿勢は見せ

論理的、複眼的、問題解決の3思考

るが、根本的な対決、戦争ま
ではしないということ。手
出すと大変なことになると相
手に示しておく必要があるか
らだ。それは対立を回避する
ための戦術である。第3は、
協調は重視しながら、競争は
継続し、対立では譲歩しない
ということ。

中国との付き合い方は、こ
の原則に則っている。対中戦
略の柱は3つ。「優位性の確保」
「自立性の確保」「安全性の確
保」である。優位性の確保と
は、相手より一歩先を行くた
めの輸出管理や技術規制など。
自立性の確保とは、必要不可
欠なものは自ら作り、対中依
存度を軽減すること。安全性
の確保は情報インフラを守り、
中国製品・サービスを排除す
ること。それを進めるため、
対中規制や国内投資、多国籍
連携などの具体的策が取られ
ている。

▽対中依存度の武器化

アメリカの包囲網に対して
中国は、海外に依存せず自ら
産業を高度化する、国内市場
を活性化させ消費拡大を図る

双循環などの政策でしのいで
いる。アジアの国々にとって
中国となぜ離れられないかと
いえば経済的つながりが大き
いからだ。中国の個人消費の
うち、海外への波及額（海外
からの調達によって賄われた
分）は年間約8400億ドル
で、米国とほぼ肩を並べてい
る。国別の波及額で日本はア
メリカ、ドイツに次ぐ3番目
の528億ドル。その約7割
は送用機器と電気・光学機器
で、この業界にとって中国は
魅力な市場だ。一方で安全保
障はアメリカに依存している
という難しい舵取りを迫られ
ている。新興国は恩恵が大き
く、中国を突き放せない。

習近平国家主席が進めてい
るのは、科学技術の自立・自
強と「対中依存の武器化」で
ある。相手の国が中国なしで
は立ち行かなくなるようにす
ることで、対中依存度を拡大
し、関係国への影響力を拡大
していこうとしている。つま
り、中国への依存度が高い品
目は制限されるリスクがある。
日本と世界における対中輸

入依存度が5割以上の品物は323品目ある。このうち100品目は日本にとって9割超を中国が占めている。さらに抗生物質（ストレプトマイシン）など化学工業品を主に11品目は100%中国に依存している。世界全体でも圧倒的シェアのものも多く、調達先を多様化するのは極めて困難だ。

逆に、日本が輸出で中国に依存していて、かつ中国は他の所から調達できるものは607品目。合計289億ドル。日本の中国向け輸出金額の17・2%を占める。

中国国内の経済がどの程度海外に恩恵をもたらしているかという点、内需（消費・投資・政府支出）に占める海外への波及額で日本は世界3番目、割合は全体の6・4%。「その他の国々」が61・3%と多く、中国内需拡大の恩恵が幅広い国に波及している。一方、日本内需の国別波及割合は4割近くを中国が握っている。それだけ日本は中国に依存している。

▽3つの思考

サブライチエーンは表層的ではなく本質的なものを見るべきである。その際に3つのアプローチがある。論理的思考、複眼的思考、問題解決思考だ。危機感、精神論に流されず、客観的データで考えること、あるファクトに対して効果だけでなく副作用も考えること、そして、忖度するのではなく貪欲にビジネスを求めて、問題を解決するという3つの考え方が重要になってくる。

人間には無意識のうちに染みついた行動バイアスがあり、これを意識して行動するかどうかが極めて重要。よく言われるのが現状維持バイアス。今ある物や置かれた状況に大きな価値を見いださず、新しい行動を躊躇してしまう。また投影バイアスは、自分の感情や置かれている状況が将来の予測に投影されてしまう。またありがちなのが確証バイアス。自分の都合のいい情報ばかりを集める。バイアスは誰しも必ずあるもので、それを意識していくことが大切だ。

事業報告、理事変更案など承認

静岡県中部未来懇話会21年度定時社員総会

一般社団法人・静岡県中部未来懇話会は6月29日、2021年度定時社員総会を静岡市葵区のホテルアソシア静岡で開き、2020年度事業報告、決算報告、理事の一部変更案などを承認した。中西勝則会長（静岡銀行会長）は「コロナ禍で講演会の開催が難しくなり、昨年11月からユーチューブを使ったライブ配信の特別講演会を



実施してきた。ワクチン接種が始まったが、まだ予断を許さない。今後もライブ配信を続けるとともに、ソーシャルメディアに配慮しながらリアル講演も行っていきたい。今後、将来の県中部地域の在り方を含めて地域活性化の講演会、シンポジウム、提言をしていきたい」とあいさつした。

理事の一部変更では、新理事に戸野谷宏・静岡ガス会長、川井敏行・静岡鉄道社長、馬瀬和人・静岡経済研究所理事長、大村治・静岡県中部未来懇話会事務局次長を選任した。また顧問が一部代わり、新たに日詰一幸・静岡大学学長、尾池和夫・静岡県立大学学長、斎藤寛・東海大学海洋学部学部長が就任したことが報告された。

総会後の理事会で、代表理事2人の辞任に伴う新たな代表理事（副会長）に戸野谷・静岡ガス会長、川井・静岡鉄道社長を選任した。